

新校が目指す学校像

生徒及び教職員、地域を中心とした視点に立ち、目指す学校像を次のようにしました。

- ・ **生徒が多様なひとびとと出会い、協働して新たな価値を創造する学校**
(生徒を中心とした視点)
- ・ **生徒一人ひとりの豊かな可能性を引き出し、しなやかに生きる力をはぐくむ学校**
(教職員を中心とした視点)
- ・ **地域とともに育ち、地域に支えられ、地域を支える学校**
(地域を中心とした視点)

第七中学校と第九中学校の統合により、これまでよりも多くの友達や教員、広がった通学区域の地域の方々など多様な人々と接し、力を合わせて活動に取り組むことで、生徒一人ひとりが多面的・多角的な視点をもつことができる学校を目指します。

また、これからの予測困難な時代において、自分自身の芯をもちながらも、どんな時でも柔軟に対応することができるよう、生徒一人ひとりの個性や特性を大切にすることを学校を目指します。

さらに、これまで両校が大切にしてきた、家庭を含めた地域との連携や協力に基づいた教育活動を新校でも引き継ぎ、発展させていく学校を目指します。

また、目指す学校像を実現させるため、以下の学校づくりの視点を大切にしながら、新校の学校づくりを進めていきます。

目指す学校像

生徒が多様なひとびとと出会い、
協働して新たな価値を創造する学校
(生徒を中心とした視点)

- ・ダイバーシティ¹を実現し、関わりを大切にしたい学習活動の充実
- ・豊かな心を育成する人権教育、道徳教育の推進
- ・実社会で生きる力をはぐくむ自発的、自治的活動の推進

生徒一人ひとりの豊かな可能性を
引き出し、しなやかに生きる力を
はぐくむ学校
(教職員を中心とした視点)

- ・ウェルビーイング²を実現する、生徒も教員も活力あふれる教育課程を編成
- ・学ぶ意欲を高め、学びを深める先端技術の活用
- ・国際社会で活躍する人材を育てる国際理解教育の推進、コミュニケーション能力の育成

地域とともに育ち、地域に支えられ、
地域を支える学校
(地域を中心とした視点)

- ・地域運営を支える教育活動の推進
- ・地域や社会の教育力を活用した小中連携、企業連携の推進
- ・夢や希望をはぐくむキャリア教育や体験学習の充実

1 ダイバーシティ…多様性の意。 2 ウェルビーイング…一人ひとりの多様な幸せと社会全体の幸せの意。

皆様のご質問にお答えします

Q 新校の標準服はどうなるのですか。

A 生徒・保護者(小・中学校保護者)を含めた検討組織において、標準服を定めるか、いつから切り替えるかも含めて検討していきます。検討に当たっては、両校の生徒、新校へ進学予定の小学校児童、保護者から広く意見をお伺いしていきます。なお、新校開校時に標準服の買い替えが必要となった場合に、保護者の方の新たな負担がないように努めていきます。

Q 両校で学習活動や学習評価の方法等が異なることが考えられますが、どのような対応をしていきますか。

A 生徒や保護者の方が学習活動や学習評価について不安なく新校開校を迎えられるよう、計画的に準備を進めていきます。学習評価に関しては、開校時に第3学年となる令和5(2023)年度第1学年の段階から、両校で同じプロセスで学習評価を行うことができるようにするため、令和4(2022)年度から教科ごとに評価基準や成績のつけ方等について教員間で確認を進めているほか、使用教材についても揃えていきます。

Q 通学区域が広がることへの対応はあるのですか。

A これまでの統合の取組では、通学区域の広がりを考慮し、個人用ロッカーの設置、部活動の際の一時帰宅を不要とするなど、通学負担に配慮した対応を行いました。このような事例を踏まえつつ、保護者や生徒、地域を含めた検討組織を設置し、通学負担の緩和措置や通学経路の確認などの安全対策を検討していきます。

Q 新校開校時の部活動はどうなるのですか。

A 両校にある部活動は、統合後も継続することを基本としつつ、統合時点での部員数や生徒の希望、担当教員の配置状況を踏まえて、最終的に決定していきます。

Q 新校開校当初、第七中学校の校舎を使用する際に必要な普通教室や特別教室を確保できますか。

A 現在の校舎にある余裕スペースを改修し、必要な教室を整備することが可能です。そのため、校舎を増築する必要はなく、校庭が狭くなることもありません。

Q 既存校舎の改修では、工事中の騒音などの影響は大丈夫ですか。

A 工事は主に夏休み期間を活用し、学習活動に支障をきたすことがないように、十分に配慮します。

Q 第七中学校と第九中学校の歴史的資料(校章・校旗、校名板等)はどうなるのですか。

A 学校の歴史に関わる資料の保存や展示について、開設準備委員会において検討を行います。これまでの統合では、目黒中央中学校には、旧第二中学校・旧第五中学校・旧第六中学校の歴史的資料の展示スペースを設置しており、大鳥中学校では、旧第三中学校・旧第四中学校の校歌板を体育館に設置しています。

Q 取組状況はどのように周知されるのですか。

A 統合新校推進協議会の協議内容や開設準備委員会の検討内容などの統合の取組については、協議会だよりや開設準備委員会だより(仮称)を発行することなどにより、随時情報発信していきます。また、特に中学校へ進学予定の小学校児童・保護者に向けては、適切な時期をとらえて、学校説明会やワークショップを開催するなどにより、開校に向けた両校の取組や新校の教育活動などについて具体的に説明していきます。

第七中学校・第九中学校の 統合新校整備方針 概要版

発行日 令和5(2023)年3月
編集・発行 目黒区教育委員会(学校統合推進課)
所在地 目黒区上目黒二丁目19番15号
電話 03-5722-9301
編集協力 野崎印刷紙器株式会社

統合新校整備方針(全文)は、
区ホームページ(右コード)から
ご覧になれます。



第七中学校・第九中学校の 統合新校整備方針

概要版



第七中学校



第九中学校

令和5(2023)年3月
目黒区教育委員会